

2025 年 5 月 29 日

株式会社 四国銀行

**「企業の教育への関わり方に関する調査
～四国の高校生 1 万名アンケートから考える地元回帰への取り組み～」
報告書の発行について**

四国銀行（頭取 小林達司）、阿波銀行（頭取 福永丈久）、百十四銀行（頭取 森匡史）および伊予銀行（頭取 三好賢治）は、四国経済連合会（会長 長井啓介）と共同で「企業の教育への関わり方に関する調査」報告書を作成しましたので、お知らせします。

四国は、少子高齢化に伴う「自然減」だけでなく、若者の四国外への流出を中心とした転出超過による「社会減」も顕著であり、多くの若者にとって高校卒業後の進路選択が地元を離れるかどうかを判断する最初の分かれ道となることを示しています。こうした状況を踏まえて、地域や企業は、県外に出る前の高校生が将来を考えるための機会を提供する場として、キャリア教育への取り組みを強化する必要性があると考えています。

四国の高校生 1 万名へのアンケートによる求められる取り組みの把握や、四国内の教育現場や企業・団体へのアンケート・ヒアリングによる実態調査等から、高校生に対するキャリア教育は地元への回帰志向を高める取り組みであり、経済界がキャリア教育を実施する意義が大きいことが分かりました。その上で、調査を通じて浮かび上がった課題を解決するべく、継続性のあるキャリア教育に関する提言等を取りまとめました。本報告書は、四国初の経済界・教育界の枠を超えたキャリア教育に関する報告書となります。

特に、四国内の経済界・教育界の皆様の一連の取り組みの参考にしていただければ幸いです。

なお、本調査は、包括提携「四国アライアンス」に基づく施策として、4 行の各シンクタンク※が実務を担当しました。

※株式会社 四銀地域経済研究所、公益財団法人 徳島経済研究所、
一般財団法人 百十四経済研究所、株式会社 いよぎん地域経済研究センター

記

【報告書の概要】

名 称	「企業の教育への関わり方に関する調査 ～四国の高校生 1 万名アンケートから考える地元回帰への取り組み～」報告書
内 容	① 四国の高校生 1 万名へのアンケート ② 高等学校ヒアリング 4 県 9 校、企業・団体アンケート 147 社回答、 企業・団体ヒアリング 4 社・1 団体 ③ 若者の回帰志向を高めるための継続性あるキャリア教育に関する提言
その他	概要版：A3 版 1 頁（ 本資料に添付 ）、本編：A4 版 82 頁 ※概要版および本編は、四銀地域経済研究所 HP からダウンロードできます。 https://www.shikokubank.co.jp/ser/ 

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社四銀地域経済研究所（担当：西本、山本） TEL（088）883-1152